

緑の地球

GREEN EARTH

地球環境のための国境をこえた民衆の協力



今年も大同で日本人ボランティアが植樹活動に汗を流しました(撮影:橋本紘二)

Contents

- 運営懇談会にご参加ください P 2
- 自然と親しむ会くつきの森報告 P 3
- 黄土高原スタディツアー写真報告 P 4~5
- 宇久須収穫合宿参加者募集 P 6

2013.9
153

認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク



報告

くつきの森を体験して

宮下 利江 (GEN 会員)

7月6日、7日の2日間、滋賀県高島市の森林公園くつきの森で自然と親しむ会をおこないました。山梨、名古屋など遠方からの参加者もまじえ15名が参加し、自然を満喫しました。今回は1泊して昼は自然観察、夜は交流をたのしみしました。

梅雨明け宣言が出た7月6日、7日の2日間、滋賀県高島市にあるくつきの森で15人の参加者といっしょに1泊2日の自然と親しむ会に参加しました。

初日はくつきの森の達人NPO法人麻生里山センターの海老沢秀夫さんの案内で、かつては水田だった森の移り変わりについてうかがいながら歩きました。

2日目はGEN代表の前中久行さんの案内で、森の中の植物の名前や特徴、葉のつきかた、見分け方などを実際に葉の匂いを嗅いだり、苦い苦いセンブリの葉をかじったりしながら観察しました。合間に、気持ちのいい温泉に入ったり、参加者のみなさんが散策の途中で調達したきのこやわらび、シンジュという山菜やみなさんの家庭菜園で採れた野菜がならんだ朝ごはんをいただくまでご連絡ください。

【東京会場】

○日時：11月30日(土) 15時30分～17時30分(13時～15時まで関東ブランチ月例会をおこないます)

○会場：立教大学池袋キャンパス5号館1階 第1・2会議室(池袋駅西口から7分 <http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/direction/>)

【大阪会場】

○日時：12月7日(土) 13時30分～16時30分

○会場：大阪市総合生涯学習センター(大阪駅前第2ビル5階 JR「大阪」駅/「北新地」駅、各線「梅田」駅下車)



いたり、普段の喧騒から離れてリフレッシュできた2日間でした。

でも、この観察会の一番の思い出は？と問われれば即答で「ヒル」と答えます。そう、あの人の血を吸うヤマビル。雨上がりの夏の森はヒルとの戦いでもありました。1995年ごろ、人が入らなくなった山に鹿が急増し、それとともにヒルも増えたそうです。

それ以外にも、鹿が増えた影響を森のあちこちで見ました。水田跡はゴルフ場の芝のようにきれいだったし、イヌツゲの木は齧られて盆栽のよう。森のなかには鹿がきらう植物だけが残っています。人が不要になって去った森は、鹿にとって

役に立つ森が変わっていく途中でした。森の懐深さはそのままに。

森に向かうときには、静かな沈黙を保った森。でも、帰りの車窓の中から見た同じ森は、木の下にごさごさわさわさといろんな生き物がうごめく賑やかな森でした。自分で行ってみることでいろんなことが分かったらためて知った観察会でした。



参加者募集

GEN 自然と親しむ会

秋の生駒山でキノコ観察をしよう

すこしずつ秋が近づいてきています。秋の生駒山でハイキングをしながらキノコの観察をたのしみませんか。

今回は、土壌微生物の研究者で、専門家派遣で何度も大同に足をはこんでいただいている栗栖敏浩さんに案内していただきます。キノコについて詳しく知らないかたにもわかりやすく説明していただけます。どんなキノコと出会えるか、どうぞお楽しみ。

○日時：10月19日(土)
○場所：奈良県生駒山(生駒山上コース)
○集合：10時に近鉄生駒駅(生駒ケーブル鳥居駅から宝山寺駅までケー

ブルカーに乗ります)

○案内：栗栖敏浩さん(株)環境総合テクノス環境部、樹木医)

○参加費：700円(※7月号の会報で300円としていましたが訂正します)

○定員：20名

○申込み：10月16日(水)までに氏名・年齢・連絡先をGEN事務所までお知らせください。

※小雨決行



みなさんのあたたかいご協力に感謝

2か月で360万円の寄付金が集まりました

会報『緑の地球』7月号で、私たちが直面している困難を率直に訴え、寄付のお願いをしたところ、7月6日から9月9日までに、85件、3,599,283円のご協力をいただきました(会費や物品の寄付は除く、以下同じ)。4月1日から9月9日までの合計は139件、4,853,665円になります。

2011年の東日本大震災・大津波、原発事故などの影響を受け、緑の地球ネットワークへの寄付金は減少傾向にありましたが、昨年度は尖閣諸島の領有権を巡る日中対立、国民感情の悪化を受けて寄付金が急減し、1年間に236件、6,710,887円でした。比較のために昨年

の7月6日から9月9日を見ると、50件、1,057,655円ですので、今年はその3.4倍になっています。

困難な状況は継続しておりますが、この活動の意義を認め、心から協力して下さるみなさんの期待に応えられるよう、がんばりたいと思います。

8月に派遣した協力団は21名でしたが、うち初めての参加が10名もありました。学習院、学習院女子、立教の3大学から学生と引率者19名の合流もあり、40名でにぎやかに活動することができました。

かさねて感謝の意を表します。



いままでするGENへの協力

■会員の輪をひろげよう!

緑の地球ネットワーク会費(年額)	
一般会員	12,000円
家族会員(同居の家族2人目から)	6,000円
学生会員	3,000円
ジュニア会員(中学生以下)	1,000円
団体会員	12,000円
賛助会員	100,000円

※会費は会報購読料を含んでいます。

■会報を購読してください!

GENの活動に関心はあるけれど会員になるのはちょっと、という方は、会報『緑の地球』を購読してみませんか。年間購読料2,000円。

■緑化基金、運営カンパもとむ

金額は自由です。GENへの寄付は、寄付控除の対象となります。また、緑化基金、運営カンパの別を問わない用途自由のご寄付も受け付けます。その場合、必要に応じて使わせていただきます。

*緑化基金の20%は事務管理費になります。

■絵はがき『黄土高原の花』

8枚組・300円(送料別途。5セット以上送料無料)

■書き損じはがきを集めています

書き損じはがき、古い未使用のはがきを集めています。通信費にあてます。

■未使用切手・古切手を集めています

普通切手、記念切手、外国切手なんでもOK。周囲を1cmほど残して切り取ってお送りください。

■ボランティア募集

会報発送や事務所の手伝いなどのボランティアを随時募集しています。ボランティア可能な曜日、時間帯をご連絡ください。来ていただきたいときにGEN事務所から連絡します。

【GENへの寄付は税制上の優遇措置を受けられます】

緑の地球ネットワークは国税庁長官に認定された認定NPO法人です。(期限は2014年5月31日まで)。

GENへの寄付は、所得控除あるいは

税額控除を受けられます。対象となるのは2,000円を超える寄付金で、確定申告が必要です。

企業(法人)からの寄付金は、一般寄付金の損金算入限度額とは別枠の損金算入限度額が認められています。

また個人が相続または遺贈により取得した財産を、相続税の申告期限以前に認定NPO法人に寄付すると、相続税の課税対象から除外されます。

GENの場合寄付金となるのは、緑化基金・運営カンパ、おまかせカンパと会費のうち1口を超える部分、賛助会費から12,000円をひいた金額です。

また、大阪市民のかたは市民税控除を受けることができます。くわしくはGENまでお問い合わせください。

運営懇談会にご参加ください

2009年から大阪と東京で運営懇談会を開催しています。主にその後の活動内容の方針をめぐって議論し、その内容を会の運営に生かしてきました。

日中間の関係改善になかなか明るい兆しが見られないなか、GENは今年も緑化協力を続けています。20年以上活

動を続けてきた成果をふまえ、今後の方向性を会員有志のみなさんで意見を出しあいながらいっしょに考えませんか。会員はどなたでも参加することができます。多くのかたの参加をお待ちしています。

参加いただけるかたは事前にGENへ



黄土高原スタディツアー写真報告

2013年はGEN黄土高原スタディツアー（8月24日～8月30日、21名）と学習院大学・学習院女子大学・立教大学ツアー（同日程、19名）、（社）大阪市RR厚生会（8月30日～9月4日、4名）が大同を訪問し、緑化活動に汗を流しました。今号では前の2つのツアーのようすをご紹介します。



左) GEN ツアー初日、北京の天壇公園を見学し、夕刻発の列車で大同市霊丘県に入りました。

右) 2日目は霊丘県の南天門自然植物園で植樹作業のあと、園内を見てまわり、元気な人は一番高いところまで登りました。

3日目は霊丘県上北泉村を訪れました。

団が到着すると村の人が太鼓や踊りの歓迎をしてくれました。村のひとや子どもたちと一緒にマツを植え、農家でおいしいごはんもいただき、たのしく交流しました。



左) 4日目は陽高県鰲石郷を訪れ、村の人たちと一緒にマツを植樹しました。

右) 午後は小学校を訪問しました。子どもたちが踊りや歌を披露。そのあとハンカチ落としで盛りあげられました。



植樹作業を終えて子どもたちと一しょに記念撮影。

今回のツアーでは合計5,600本の木を植えました。ツアー参加者のなかから「スタディじゃなくてワーキングツアーでしょう!」という声が聞かれるほどたくさん木を植えました。

左) ツアー5日目、「緑の地球環境センター」を訪れ、ここでもマツの植樹をしました。センター内の生態植林見本園なども見学しました。

右) 午後は采涼山「地球環境林」と「カササギの森」へ。今年は雨に恵まれ、青あおとした緑を見ることができました。



南天門自然植物園周辺が「国家級公益林保護区」に

霊丘の県城から唐河に沿って省道201号線を南東に下り、上北泉村の近くで右に折れ、国道108号線を西に進むと、まもなく左手に周囲よりは明らかに樹木の多い山が見えてきます。それが南天門自然植物園。108号線を左にはずれて100mほどで小さな流れを渡りますが、あれは上寨河で、ちょっと下流で唐河に合流します。

坂道をそのまま右に上ると南庄村があります。最近では村を過ぎ、河川敷のようなところを歩いて、南天門自然植物園に向かうことが多いです。その入り口のところに写真のようなコンクリートの表示板ができました。

「国家級公益林保護区」の表示とその管理責任者の名前があり、立てたのは霊丘県政府です。前中久行代表によると、省クラスの保護林はあちこちに

あっても、国家クラスのもの珍しいそう。詳しい事情はまだ聞いていませんが、植物園の保護に役立つならうれしいことです。



本を紹介

『聖域巡礼 私の目から見るチベット』（文：李建華 写真：李建華・李毅/禅文化研究所/1,800円+税）

GENがツアーでお世話になっている北京同心社の社長で禅文化研究所の客員研究員でもある李建華さん。季刊誌『禅文化』に全26回にわたって連載され、好評を受けた『聖域巡礼』がこのたび単行本化されました。まだ手つかずの大自然が残るチベットの地やそ

こに暮らす人びとの信仰などを追ひ、美しいカラー写真とともに紹介しています。

購入希望のかたは禅文化研究所のホームページからどうぞ。URL: http://www.zenbunka.or.jp/pub_etc/



参加者募集

黄土高原ツアー報告会のお知らせ

黄土高原ツアーでのさまざまな出会い、体験について語りあう場をもうけ、思いを共有したいと思います。ツアー参加経験のないかたでもどうぞ参加ください。

【大阪会場】

○日時：9月28日（土）13時30分～

16時30分

○場所：大阪市立弁天町市民学習センター（JR環状線/地下鉄「弁天町」駅直結 ORC200ビル7階）

○参加費：500円

○定員：45名（先着順）

○申込み：GEN事務所まで

【東京会場】

○9月28日（土）15時～18時ごろ

○場所：立教大学池袋キャンパス5号館1階会議室

○参加費無料・事前申し込み必要なし。今年8月のスタディツアーに参加したかたはデジタル写真などをお持ちよりください。

※関東 brunch 月例会と併せておこないます。

参加者募集 GEN 関東ランチ 宇久須収穫合宿

恒例となりました宇久須合宿、今回は西伊豆の大地を学ぶとともに、宇久須の秋のお祭りを堪能します。伝統のある芸能に触れることで地域文化の深さを実感してください。

○宿泊：GEN 関東ランチ宇久須合宿



(静岡県賀茂郡西伊豆町宇久須 607)
○日程(案)：11月1日(金)夕方宇久須関東ランチ宿舎集合、夕食+結成式
11月2日(土)午前関東ランチ圃場にて収穫(サトイモ・サツマイモ・カボチャ)12時15分から美谷島氏による伊豆の地質に関する解説。14時から伊豆ジオパーク巡り(黄金崎・富戸・堂ヶ島・一色など)18時夕食(自炊)交流会
11月3日(日)早朝牛越神社「人形三番叟」鑑賞、9時から出崎神社「猿っこ」鑑賞、西伊豆文化展(賀

茂小学校)藤原さんの作品も出展
昼食後、現地解散。残れる人は宿舎大掃除(撤収)収穫物の発送。
○参加費：大人8,000円 子ども6,000円(宿泊費(宿舎管理費・光熱費・寝具)・食費(酒代は別)・保険料を含む)1泊の場合は大人5,500円 子ども4,000円、現地までの交通費は自費。
○申込み：氏名・年齢・性別、宿泊数を記入のうえ、下記のいずれかの方法でお申込みください。e-mail: matizukuri.college@gmail.com fax.042-388-6642 上田自宅郵便(〒184-0013 小金井市前原町3-23-23 上田信)
○申込み締切：10月26日(土)
○定員：13名(先着順)

関東ランチ月例会

参加費無料・事前申し込み不要。場所は、いずれも立教大学池袋キャンパス5号館1階会議室です。お問合わせは上田信(ueda@rikkyo.ac.jp)まで。

- 【9月度月例会】
○日時：9月28日(土)15時～18時
○話題提供：高田和寧さん「日中中学生交流の可能性(仮)」(日中学生会議スタッフ)
○内容：日中学生会議は毎年夏に日中の大学生が共同生活と議論を通して交流活動を行っています。今夏おこなわれたプログラムの紹介と活動を通して感じた学生交流の可能性についてお話しします。

ンティア学生協会事務局、Japan Love Project(カナダ)前代表)
○内容：3月11日、流れてきた海の向こうの母国のニュースに日本人留学生や日系人がどのような思いをいただき、動いたのか。バンクーバーでの活動を中心に募金活動、2年後の漂着瓦礫の清掃活動にいたるまでをお話しします。
【11月度月例会】
○日時：11月30日(土)13時～15時
月例会 GEN 高見事務局長報告

15時半～18時 運営懇談会
【12月度月例会】
○日時：12月21日(土)15時～18時
○話題提供：松永光平さん「中国の水土流失と現代中国における転換点(仮)」(慶應義塾大学大学院政策メディア研究科特任講師・GEN世話人)
○内容：黄土高原でなぜ水土流失は起き、今後どうなるのか? 松永著『中国の水土流失』(勁草書房)を題材に、試論を提示したい。
☆月例会終了後に忘年会を予定しています。

参加者募集 GREEN なんでも勉強会 森に降りそそいだセシウムのゆくえ(仮)

3.11から2年半が過ぎました。福島原発事故によって周囲に降りそそいだ放射性セシウム。住宅地や農地で除染が行われていますが広大な森林はどうでしょうか? 福島県河内村での調査をもとにそのゆくえに迫ります。
○日時：11月27日(水)18時30分～20時30分
○講師：岡田直紀さん(京都大学大学院農学研究科准教授)
○場所：ひと・まち交流館京都(京都

市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1(河原町五条下る東側)tel.075-354-8719 fax.075-354-8712 市バス4、17、205系統「河原町正面」下車 京阪電車「清水五条」徒歩8分、地下鉄烏丸線「五条」徒歩10分 URL http://www.hitomachi-kyoto.jp)
○参加費：700円 学生300円
○定員：40人
○問合せ・申込：GEN事務所まで

黄土高原史話<64> 都づくりの総仕上げ

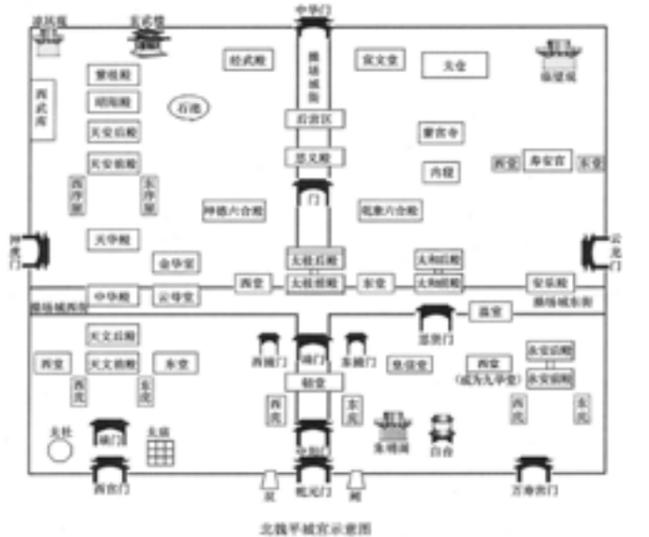
日・中の双方とも9割以上が相手国に良くない印象をもっている、という最近の世論調査(私の実感とは異なるが)。
折も折とて、催行が危ぶまれていた今夏のスタディツアー、参加者20名ほどで、初めての人も多しとか。「こんな時だからこそ中国へ」とおっしゃる方も。その志、壮なる哉。百聞不如一見です。
さて今回は、北魏は平城(大同)の話の続き。

北魏が華北を統一したのは439年、第3代太武帝のときのこと。これより宋と北魏による南・北朝対立の構図が定まるが、以後も北魏の南下は止まず、宋の都建康(南京)は震駭し、王族からは北魏に亡命する者も。469年、北魏は宋から山東省の青州を取る。第5代献文帝のときのことですが、実権をにぎっていたのは馮太后、おそらく彼女の意図に出たのだろう。それはともかく、黄河南側の青州は宋の影響下にあったのだが、王室内部に争いがあると、連動して地元でも対立が激化。北魏はこれに乗じて兵をすすめ、この地を奪取したという次第です。そして抵抗派の名望家・崔氏とともに数百家を平城近くの桑乾河畔に拉致しきって、そこに平齊郡(帰安・懷寧の2県)を建置した。平齊郡とは、もとより山東の古名=齊にちなんだ名前です。

さて、「平城に入りて、平齊戸に充」てられた一人に、蔣少游なる技術者あり。身分が低いとか、独習・我流のゆえをもって初めは軽んじられますが、「性(うまれつき)機巧、頗る画刻(絵画・彫刻)を能」くしたので、役所の「写書生」からスタートし、政府高官の引きもあり、第6代孝文帝の時代には朝廷の「衣冠」のデザインをまかされる。また平城宮の内部に皇信堂あり、その壁には少游の筆により忠臣・烈士の像が描かれた。その後も将作大匠(建設技術総監)として、華林殿・金墉門を手がけて能力を発揮、その造るところは「妍美なり」と称さ

谷口 義介 (GEN 会員)

れた。
しかし、少游の大仕事は、なんといつでも都の中心=太極殿の建造です。「平城に於て將に太廟と太極殿を営まんとし、少游を遣わして伝(駅馬)に乗りて洛に詣り、魏・晋の基址を量準らしむ。」
そもそも太極殿というのは、三国・魏の235年、明帝が建造したあと西晋末にいたるまで首都洛陽の正殿でありつづけた。しかし316年、西晋が永嘉の乱でほろんでから、洛陽は東晋・前秦・宋などの激しい争奪の地となって、城内は荒廃するにまかされる。493年、孝文帝は洛陽の故地をめぐったが、亡国の悲運に想いをよせ、『詩経』王風黍離の詩を口ずさんでは涙数行くだりし、と。
(ちなみにこの詩は西周の旧都鎬京の荒廃を歎いたもの)。
その前年の492年2月、孝文帝は平城の正殿だった太華殿をつぶし、太極殿の建設を開始。それに



白砂青松の美しい景観を復活しよう!

参加者募集 森林ボランティア in 箱石参加者募集

美しい日本海や自然環境に恵まれた箱石地区で地元やボランティアの人たちが白砂青松の美しい景観を取り戻す活動をおこなっています。
箱石海岸では近年、松食い虫の被害で防潮・防風の役割をはたすマツ林が消失し、農業などに影響が及んでいることから海岸にマツ林を再生させる取り組みを始めています。2011年からGENも参加しています。
3年間かけて松苗を植栽し、これからは草刈り、間引きなどの管理をおこな

先立ち少游を洛陽に派遣して、太極殿の遺構を測量・調査させ、新宮殿のモデルとする。つまり帝は、国都平城を中華の都たる洛陽に擬したのだ。同年のうちに太極殿は竣工するが、最大の功労者は設計・監督にあたった蔣少游。翌493年正月、落成記念の大パーティーが開かれる。
つけたしにエピソードをひとつ。
この人、文藻もゆたかだったが、詩文などには目もくれず、いつも網尺を持って「園湖城殿」を測量してまわっていたので、ときの識者・文人は惜しいことだと慨歎した、と。
以上、「」内の引用文はすべて『魏書』巻91「術芸」による。

ていきます。過去に参加した人も初めての人も丹後半島の自然を満喫しながら海岸林を再生させる活動に参加しませんか。
○日時：11月9日(土)午前中
○場所：丹後半島久美浜町箱石海岸
○作業内容：草刈り、間引きなど 詳細は未定ですが、わかり次第お知らせします。参加ご希望のかたはGEN事務局までご連絡ください。
○前泊をご希望のかたは宿泊先の手配をしますのでお申してください。



大阪から人と地球を考える
アースデイアクション!

Happy Earth Day OSAKA 2013 秋

今春 GEN も出展したハッピーアース
デイ大阪が秋にも開催されます。2013
年秋は『明日へ紡ぐヒトモノガタリ』
をテーマによりよい地球の未来のため
にできることを考えます。来場の際は
ごみ削減のためマイ食器をご持参くだ
さい。

- 日時：10月19日(土) 11時～17時、
10月20日(日) 10時～16時
- 場所：久宝寺緑地修景広場周辺(大

* 当欄掲載のイベント情報は掲載時点のもので、その後変更になる可能性があります。主催者にお確かめのうえ、ご参加ください。
* 当欄に情報をお寄せください。本紙は奇数月15日ごろの発行で、締切は前月の末です。なお、紙面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

阪府八尾市西久宝寺 323 JR 関西本
線大和路線「久宝寺」駅北へ徒歩 10
分、近鉄「久宝寺口」西へ徒歩 15 分)
○主催・問合せ：ハッピーアースデイ
大阪実行委員会 (<http://www.happy-earthday-osaka.jp/>)

見つけよう! 世界とつながるあなたのトピラ グローバルフェスタ JAPAN2013

国際協力の日(10月6日)にちなん
でおこなわれる国際協力の現状を広く
伝えるためのイベントです。各団体の

出展のほか、チャリティーラン、ワー
クショップ、エスニック料理ブースな
どさまざまなプログラムがあります。
○日時：10月5日(土)、6日(日)
10時～17時
○場所：日比谷公園(東京都千代田区
日比谷公園1-6) 入場無料
○主催・問合せ：グローバルフェスタ
JAPAN2013 実行委員会 tel.03-5434-
8766 fax.050-3737-1565・03-5434-
8686 e-mail: gj2013@jtbcom.com
URL <http://www.gfjapan.com>
○共催：外務省・独立行政法人国際協
力機構(JICA)・(特活)国際協力
NGOセンター(JANIC) など